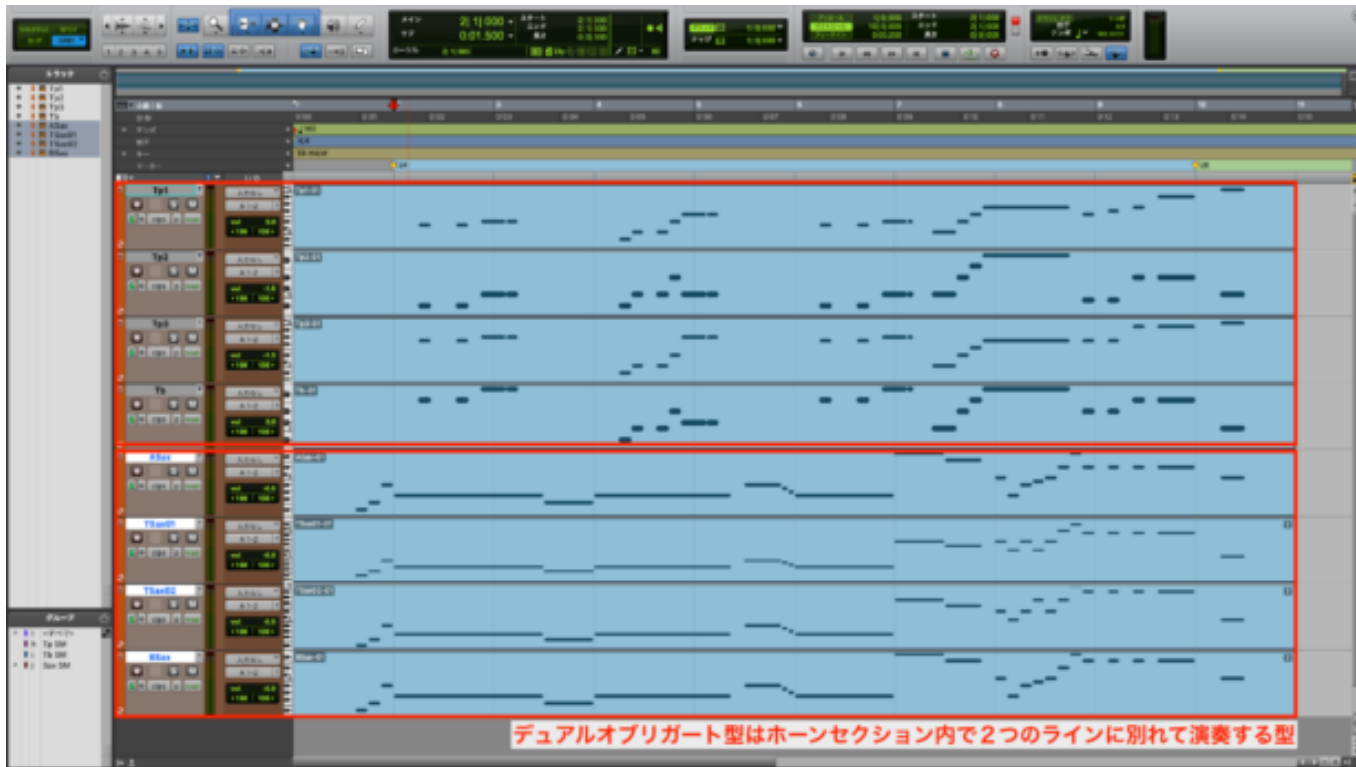


2-8

番外編：デュアルオブリガート型

デュアルオブリガート型の特徴

異なる2つの旋律を同時に演奏するフォーム。8管以上のホーンセクションでは、ブラスセクションとサクソセクションの双方で4人以上の人数を確保できるため、一時的に2つのパートに分かれて演奏することも可能になる。



The screenshot displays a music production software interface with a piano roll view. The piano roll shows multiple staves for different instruments, with a red box highlighting two specific staves. The text at the bottom of the image reads: デュアルオブリガート型はホーンセクション内で2つのラインに別れて演奏する型

『Margin Call』 Hom Ver.

稲毛 謙介

Musical score for Trumpet 1, 2, 3, and Trombone. The score is in 4/4 time with a tempo of 160. It features a 2A' section. The instruments are marked with *mf*. The Trumpet parts play a melodic line, while the Trombone part provides a harmonic accompaniment.

Musical score for Alto Sax, Tenor Sax 1, Tenor Sax 2, and Baritone Sax. The score is in 4/4 time with a tempo of 160. It features a 2A' section. The instruments are marked with *mf*. The saxophone parts play a melodic line, while the Baritone Sax part provides a harmonic accompaniment.

ブラスセクションとサクセスクションでそれぞれ異なるラインを演奏

© TEMPEST STUDIO/OTO×NOMA

デュアルオブリガート型アレンジのポイント

① 基本型アレンジにもう1つのラインを加える

- ✓ これまでに解説した4つのアレンジ方法に加えてもう1つのラインを付け加える
- ✓ 例えばブラス4管で基本型アレンジ+サックス4管で新たなオブリを演奏するなど

② 基本はブラスとサックスでパート分け

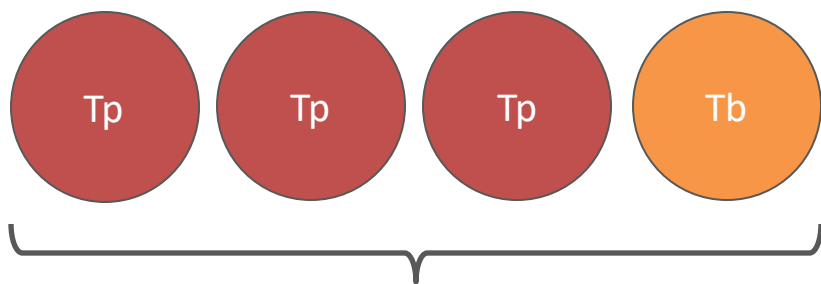
- ✓ ブラスセクションとサックスセクションでパート分けするのが最も基本的な形
- ✓ ブラスはスタカート系、サックスはレガート系で棲み分けるのもよい

③ 高音楽器と低音楽器で分ける方法も

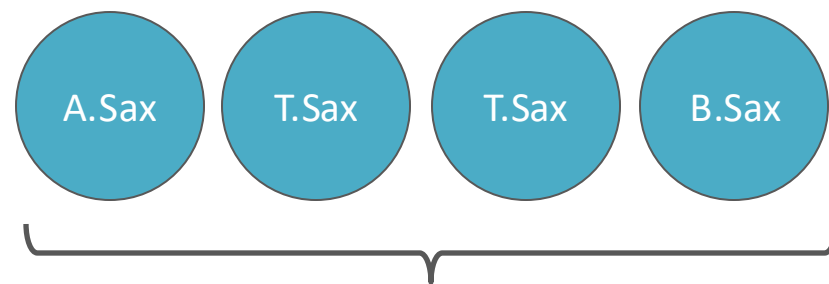
- ✓ 組み合わせる楽器によってサウンド感も変わってくるため、楽曲に合わせて適宜選択しよう

デュアルオブリガート型のパート分け①

【例1】セクションによるパート分け



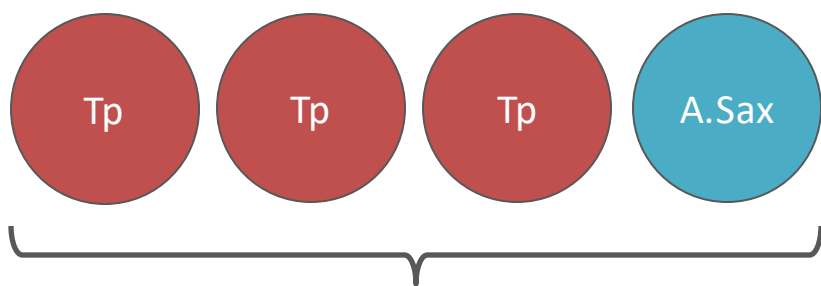
ブラスパート



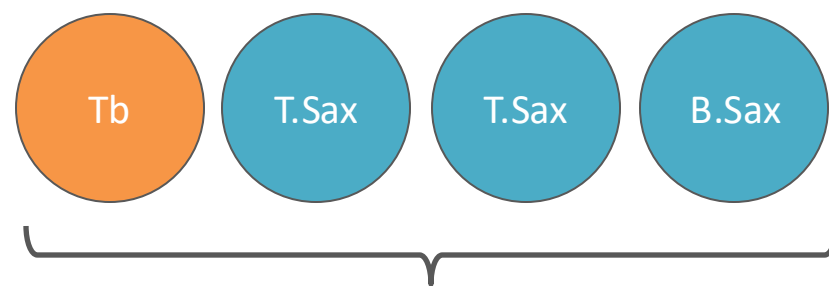
サクソパート

デュアルオブリガート型のパート分け②

【例2】音域によるパート分け



高音パート



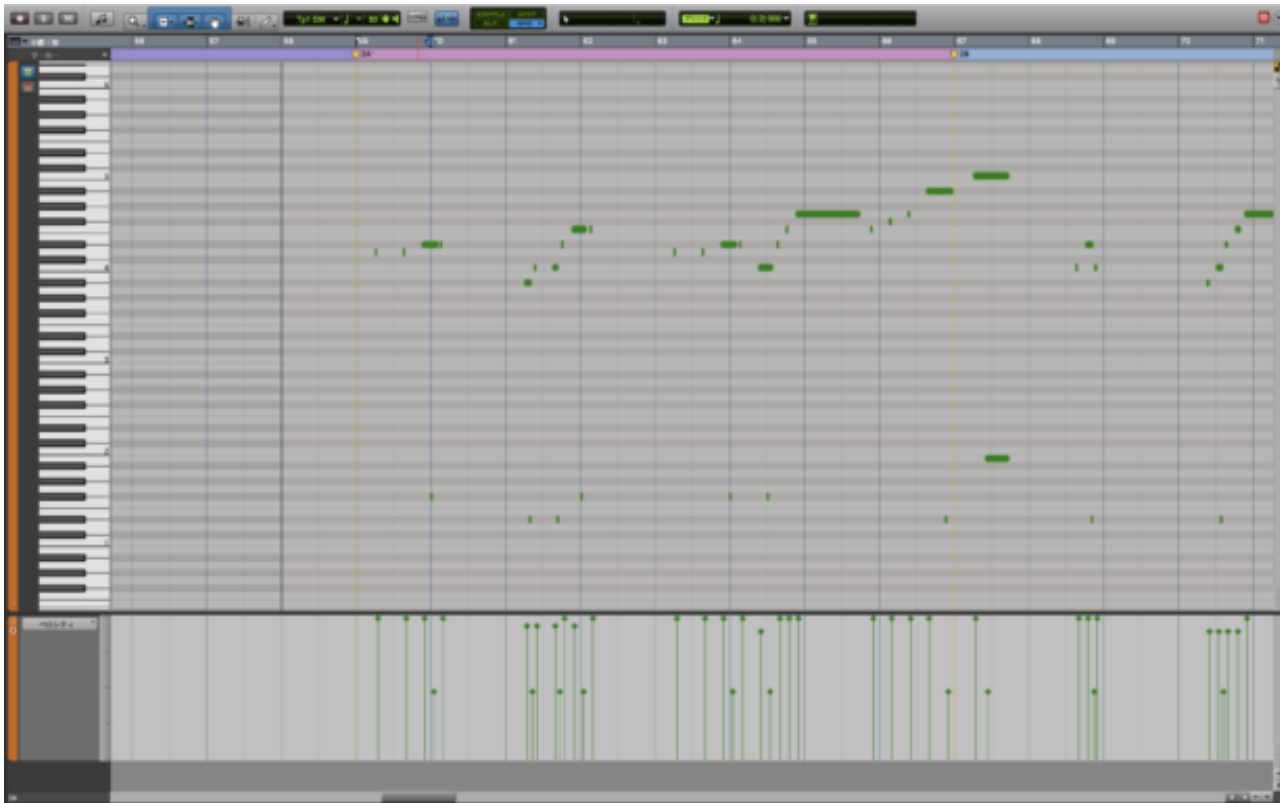
低音パート

デュアルオブリガート型アレンジの手順

- ① 1st Tpで基本アレンジのラインを決める
- ② A.Saxで対旋律を決める
- ③ 全体をボーシングする

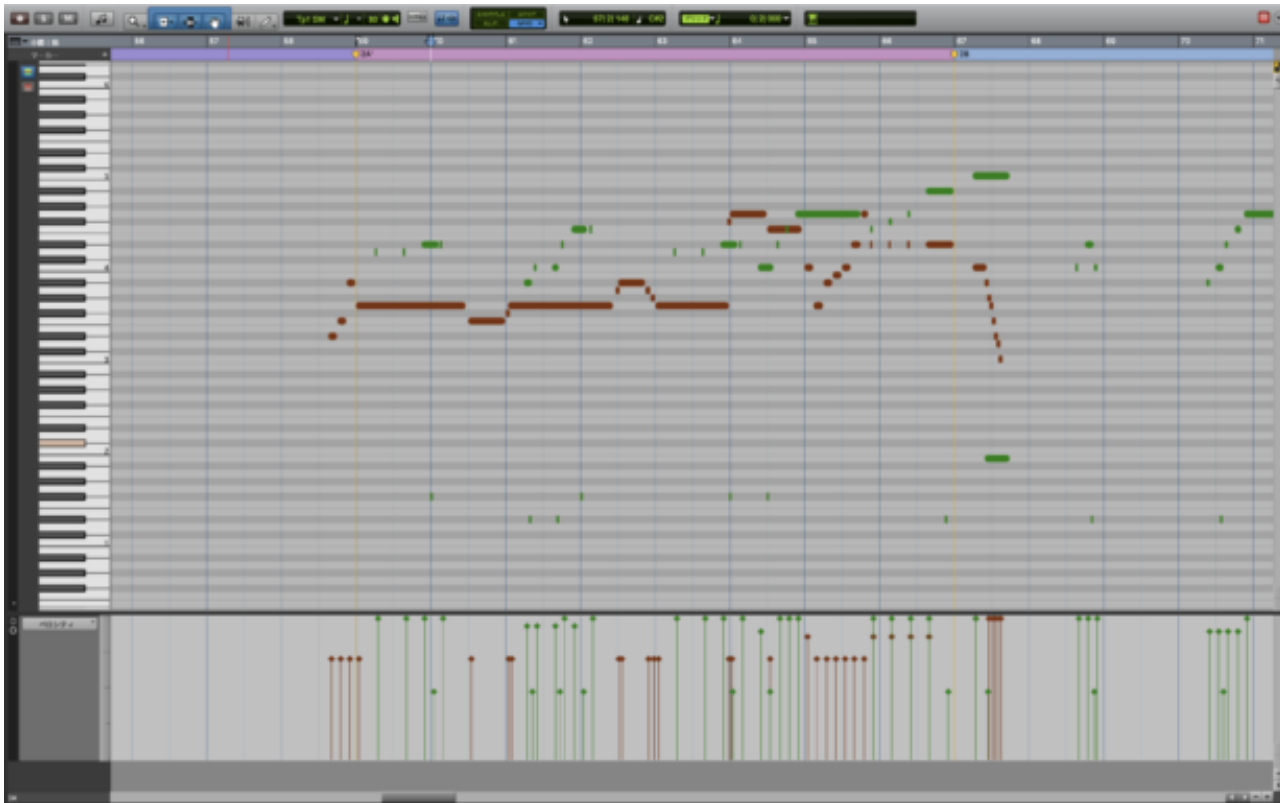
① 1st Tpで基本アレンジのラインを決める

ホーンアレンジ4つの型にしたがってブラスセクションのラインを作る。この時点ではボーイングはせず、1st Tpでトップのラインだけを決めればOK。



② A.Saxで対旋律を決める

2本目のラインとなる対旋律部分をA.Saxで打ち込んでいく。このとき、1st Tpのラインと動きがバッティングしないよう、対比をつけるとよい。



③ 全体をボーシングする

双方ユニゾンボーシング、あるいは片方をユニゾンボーシングにした上で、もう一方をコードボーシングにするのがまとまりが良い。

